

訂正

本誌のバック・ナンバーにおいて、下記の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
(編集部)

■ 2001年12月号

● Inside Electronics

p.137 左↑1行目：日本テキサス・インスツルメンツ→テキサス・インスツルメンツ

● 特集

p.160 表20：LDAT4, LDAT6～15 およびLDAT15の直下のGNDのピン番号は右表のとおり。

p.165 左↓1行目：READYO #→READYI #；左↓10行目：READYO #→READYI #

● 特設記事

p.227 右↑3行目：私たちに関係の深い情報技術装置 ITE (Information Technology Equipment) の規制値は、波形によらずクラスDが適用されます。→波形によらず、テレビ、パソコン、モニタの3製品にはクラスDが適用され、これ以外の機器はクラスAが適用されます。

● HYPERmods

p.282 コラム右↓8行目：PHDISKと/CREATEの間は半角スペース


● <http://www.回路定数.com/>

p.293 図1(a)と図1(b)の入力信号波形

は 

p.299 右↓9行目：ベース-エミッタ間→ベース-コレクタ間

● INFORMATION

p.303 中↑2行目と中↑11行目：として記載してあるのはFAX番号。

LDAT4	33	34	LDAT7
LDAT6	35	36	LDAT9
LDAT8	37	38	LDAT11
LDAT10	39	40	LDAT13
LDAT12	41	42	LDAT15
LDAT14	43	44	GND